

茅ヶ崎市の人口 231,837人
小学生 13,023人
(平成20年7月1日現在)

発行 茅ヶ崎市総務部秘書広報課

〒253-8686 茅ヶ崎市茅ヶ崎1-1-1 ☎0467-82-1111

URL <http://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/>



小学生ランキング ~小学生216人に聞きました

あなたの好きな映画はなんですか？

第1位	ポケットモンスター	56人
第2位	インディ・ジョーンズ	16人
第3位	花より男子	12人
第3位	ハリー・ポッター	12人
第5位	ナルニア国物語	9人
第6位	名探偵コナン	8人
第7位	ドラえもん	7人
第8位	マリと子犬の物語	5人
第8位	パイレーツ・オブ・カリビアン	5人
第10位	レミーの美味しいレストラン	4人
その他	バッテリー、ザ・マジックアワー、崖の上のポニョなど	

彼こそが海賊

大野 希美佳(緑が浜小6年)

私たちの学校の6年生は今、映画「パイレーツ・オブ・カリビアン」の「彼こそが海賊」という曲を練習しています。とても迫力がある曲で、かなりハイレベルなので、練習がとても大変です。楽しい曲なので、みなさんもぜひやってみてください。

海を守る人たち

茅ヶ崎の海は、消防署海岸出張所と湘南海上保安署の人たちが守ってくれています。海でおぼれている人を助けたり、水の事故にあわないための勉強会を開いたりしています。茅ヶ崎の海を守るために、もしものときに備えて訓練をして、毎日がんばっています！



消防署海岸出張所

心強い水難救助隊！

水難救助隊とは、海や川で事故があった時につけてくれる救助隊で、海岸の海岸出張所から出動します。隊員さんは、潜水士の資格などを持っていて、毎日を鍛えています。一番速く泳ぐ人はなんと！50メートルを26秒で泳ぐそうです。すごいですね。



湘南海上保安署

湘南海上保安署の仕事

藤沢市江の島にある海上保安庁湘南海上保安署のみなさんは、私たちの知らないところで海で安全に遊べるような環境を作ってくれています。海でおぼれた人を救助したり、美しい海の環境を守るために、海の汚染状況の調査をしたり、船の交通安全のための監視・取り締まりを行っています。

巡視艇うみかせ

うみかせは主に相模湾を守る海上保安署の巡視艇です。総トン数24トン、長さ19.6メートル、速度28ノット(時速およそ50キロ)、乗員は5人で、色は灰色です。取材に行った日の午前中にも、水難事故があつて、捜索に行っていたそうですが、救助作業は私たちが思っているより、きつと何十倍も大変なんだろうなと思いました。



水難救助工作車と水上ポート



海岸出張所にある水難救助工作車は、海や川でおぼれた人を助けるためにシュノーケルやヘルメット、ウェットスーツやドライスーツなどの道具が入っています。ドライスーツを着ると服がぬれずに水に入ることができるので、寒いときや汚れた川

救助の仕方

もしもおぼれたときは、あわてず力を抜いて、浮いて助けを待つことが一番大事です。今回は、海上保安署の人がおぼれる人の役になり、私たちが救助を行いました。



救助で使う道具は、ボートやうきわ以外にも身近にいろいろとあります。今回は、ペットボトルやビニール袋など、水に浮きやすい物を使いました。はじめは、投げても軽いので届きませんでした。少し水を入れて、重くしてから投げると遠くまで届き、無事に救出することができました。そして、いろいろな道具を使っても、人を助ける気持ちがあれば、人を救出できないということもわかりました。

水上バイク

また、海岸出張所には水難救助のための水上バイクが1台置いてあります。とても大きくて、最高時速は80キロも出るので救助時には大活躍します。出動する時には、2人で乗って救助に出かけ、「ライフレスレッド」という、ビート板を大きくして持ち手をつけたようなものに救助した人に乗せません。



海は敏感！

海上保安署では、みなさんに教わりながら江の島の海水を使って、水の汚れを測る実験をしました。

海水を入れた専用カップに、オレンジジュースを4滴たらして、水質バックテストを行いました。すると、色が変わり、汚れている度合いが100パーセントを超えていました。実際に魚が住めるのは、5パーセント以下なので、たった少しのオレンジジュースで、海の魚は住めなくなりません。私たちの未来のために、水を汚さないようにしましょう。



海のもしものは118番！

もしも海に落ちた人を見たらどうしますか？びっくりして怖くなくても決して逃げないでください。まずおぼれている人に浮く物などをつかまらせて、浮いていられる状態にしてあげましょう。そして、安全を確認したら電話で118番にかけましょう。すぐに海上保安署の人が来て、助けてくれるはずです。みなさんも、「海のもしものは118番」を忘れないでください。



みんなの 学校ニュース



マリンジュニアNo.29の編集委員のみなさん

プラザ今宿

五十嵐 めぐみ(今宿小6年)
今宿小学校では、平日の放課後、学校の体育館でプラザ今宿をやっています。プラザ今宿にはたくさんの遊び道具があり、とても広く、他の学年の子とも遊べるので、とても楽しいです。プラザには毎日、交代で児童のお母さんや地域の方々が来ています。多いときには30〜40人が来るので、体育館はとてもにぎやかになります。

ベルマーレサッカー教室

松浦 美々(鶴が台小6年)
鶴が台小の6年生が、湘南ベルマーレのコーチにサッカーを教えてくださいました。
最初は氷鬼をやりました。次にボールを上に向けて、キャッチする練習をしました。
最後はみんなで試合をしました。ゴールにはキーパーがたくさんいたのでなかなか点が入りませんでしたがおもしろかったです。



手作りのペーパーナイフ

小金丸 凌佳(茅ヶ崎小6年)
ペーパーナイフは、厚さ1センチくらいの木の板にナイフの形を書いてけずります。ていねいにけずると紙がきれいに切れます。私も初めて作ったので、木で紙が切れた時はびっくりしました。なかなかできない体験なのでよい思い出になりました。



エコキャップ運動

島崎 正宏(松浪小6年)
松浪小学校では、5年生の呼びかけで、ペットボトルのキャップを集めています。ぼくたちはあたりまえにペットボトルのお茶やジュースを飲み、容器を捨てていますが、キャップを100個集めると、ワクチンと交換できると校内放送で説明がありました。毎日学校でぶつこうに勉強できるほかたちは恵まれていると感じるし、少しでも多くのワクチンを届けられたらと思います。

教頭先生の特別授業

青柳 沙耶(浜須賀小6年)
浜須賀小の6年生には、「よのなか(世の中科)」という教頭先生の特別授業があります。
第1回授業は、1つのものをいろいろな角度から見るといってテーマで、だし絵をしました。第2回授業では、ほかの国の言葉や文字、言葉がない国のことを学びました。
これからも「よのなか科」の授業がとても楽しみです。

大仏作り

太郎良 ゆずか(小和田小6年)
私のクラスでは、実物大で大仏を作りました。6班に分かれて新聞紙をつなげていき、最後には体育館でつなげました。
一番大変だったのは、新聞紙をのりでつなげる時でした。大きくつなげていくので、全部つなげ終わるのに約10時間もかかりました。最後に墨や絵の具で模様を描いて完成です。お母さんたちに見てもらい、「すごいね」と言われて、うれしかったです。



あじさい給食

宮垣 梨紗(小出小6年)
私の学校では、毎年あじさいが咲く6月にあじさい給食があります。
あじさい給食では、外にしいたシートや、遊具の上などで好きな人と自由に食べられるので、みんな3日くらい前から一緒に食べる人を決めたりして、楽しみにしています。給食を食べ終わった後は、みんなで遊んで、いつもの給食よりも楽しかったです。



鎌倉遠足

熊本 瞳美(松林小6年)
私たち6年生は、6月の初めから鎌倉遠足の計画をして、6月25日に行ってきました。最初に長谷寺に行き、池や15種類もあるあじさいを見た後、大仏に行きました。大仏の中に入ると急な階段がありました。外には大きなぞうりがあって、「ごうごう」の音はくのかな」と思いました。帰った後はみんなでパンフレットを作ります。筋肉痛になりましたが、とても楽しかったです。